

取組み1 校内安全マップの作成

ISS推進校

校内のケガの発生地点、危険個所を調査し、子どもたち自身でマップ作成をすることにより視覚化し予防意識を啓発する。



ISS推進校3校で作成

- ・花の木小学校
→マップの見直しを実施
- ・南小学校
→毎年5・6年で作成
- ・秩父第二中学校
→ケガの発生場所を校内マップに落としている

対策委員会の役割

- ・校内安全マップの作成支援
- ・ケガデータの収集、提供

南小学校



校庭でのケガ予防(学校)

- ・遊具の使い方の説明
- ・校庭の石拾いを実施

環境整備(学校)

- ・衝突防止ミラー設置
- ・危険個所標示の設置

花の木小学校



1. 校内安全マップの作成

	内容	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
活動	校内安全マップ作成学校数	3校	3校	3校	3校	3校
短期 ・ 中期	危険を予測し、危険なことをしないと回答した割合（南小学校）	74% n=214	79% n=193	85% n=184	85% n=168	
長期	学校内のケガの発生件数（ISS3校）	1820 件	1917 件	1838 件	1796 件	1562 件

中学校の部活動で使用する器具や設備、危険個所の点検を実施。



SC認証後の変更点

- ・顧問の先生が実施⇒生徒も実施
- ・顧問の先生と部長が月1回、部員全員で年2回実施

対策委員会の役割

- ・安全点検の支援
- ・ケガデータの収集、提供



生徒と教師と一緒に健康チェック、準備運動、練習方法、整備運動、設備の利用方法などの指針の策定。



対策委員会の役割

- ・安全指針の策定支援
- ・ケガデータの収集、提供

SC認証後の継続

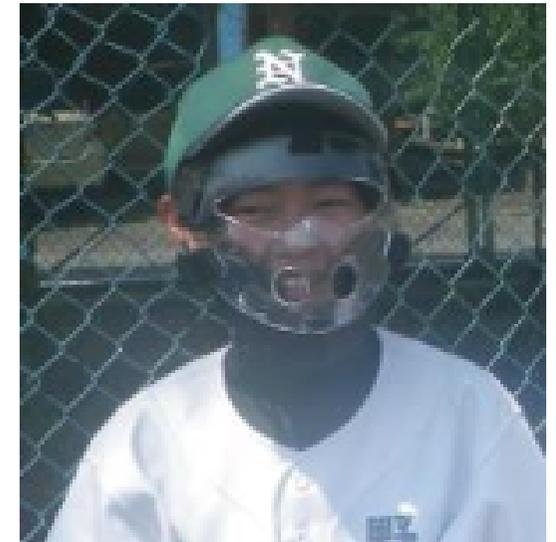
- ・毎年安全指針の見直しを実施。
- ・すべての部員が毎年策定指針の確認。



SC認証後の取組み(改善点)

秩父第二中学校の野球部で実施

バッティングの際のファウルチップで目と鼻をケガをするケースが多いというデータに基づき、打撃練習時に、フェイスガードを着用しているものです。



バッティング



守備にも活用



他の学校へ普及

2. 安全点検の実施

内容	2017年	2018年
安全点検実施回数【活動指標】	顧問の先生と部長が月1回 部員全員で年2回実施	
部活動での安全点検を行うことで、安全意識が向上したと考える生徒(第二中学校)	96.8% n=283	98% n=258
部活動での安全点検を実践する生徒(第二中学校)	100% n=299	100% n=268

3. 安全指針の策定

内容	2017年	2018年
安全指針の見直し【活動指標】	毎年全ての部活で見直しを実施	
準備運動などの指針を守ることで、その大切さを理解している生徒(第二中学校)	95.7% n=280	98.1% n=258
安全指針を実践する生徒(第二中学校)	100% n=299	100% n=268

2安全点検の実施・3安全指針の策定

ISS推進校

中期評価(意識変化)

内容	2013	2014	2015	2016	2017
部活動中でのケガ発生件数 (第二中学校)	51 件	78 件	57 件	56 件	62 件

長期評価(状況の変化)

内容	2013	2014	2015	2016	2017
校内で発生したケガの件数 (第二中学校)	440 件	345 件	336 件	305 件	322 件

取組み4 保育所ヒヤリハットの作成

保育所内でケガが発生しやすい場所などをまとめた「ヒヤリハット集」を作成する。

全ての公立保育所（5園）でヒヤリハット集作成

- ・週1回園内情報共有会議
- ・月1回各公立保育所間情報共有会議

対策委員会の役割

- ・ケガデータの収集、分析
- ・危険予測学習の実施の呼びかけ
- ・産総研による出前講座の開催
- ・アンケート調査の実施

SC認証後

危険予測学習（2017年～）5歳児対象

子どもと保育士
に対して
危険予測学習
を開始

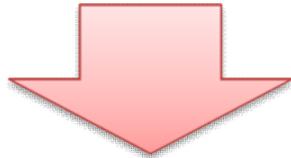


取組み5 リズム遊び(体幹トレーニング)

外傷データにより転倒によるケガが多いことがわかったため、転ばないように体幹を鍛え、バランス感覚を養う体操を導入する。

2014年 日野田保育所（4～5歳児）で実施
2015年 全市立保育所で実施（年齢も拡大）

SC認証後



2016年 すべての公立保育所で実施
週1回程度実施
2017年 すべての公立保育所で実施
週2回程度実施
2018年 全公立保育所でスポーツテストを実施

対策委員会の役割

- ・ケガデータの収集、分析
- ・アンケート調査の実施
- ・スポーツテストの結果の集計



評価

4. 保育所のヒヤリハット・5. リズム遊び(体幹トレーニング)

	内容	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
活動4	保育所ヒヤリハット会議の回数	保育所間の情報共有及び危険個所の改善		週1回園内情報共有会議 月1回各公立保育所間情報共有会議		
活動5	リズム遊び実施回数	日野田保育所	全公立保育所	全公立保育所週1回実施	全公立保育所週2回実施 スポーツテスト(2018～)	
短期	保育士の意識の向上(アンケート結果)	2018年から意識調査				74.4% n=43
中期	病院で受診が必要なケガ発生件数	4件	2件	4件	8件	5件
長期	子どものケガの発生件数(保育所内)	2016年からケガの集計開始		362件	186件	297件

取組み6 リーフレットの配布

家庭内でのケガが多いことから、家庭内等でのケガ予防に関するリーフレットを作成し、各保育所・保健センター等で配布する。

応急処置

対策委員会の役割

- ・アンケート調査の実施
- ・リーフレットの作成、配布

SC認証後

- ・リーフレットのイラスト変更、作成。
(イラスト：
秩父高等学校
秩父農工科学高等学校)

予防策

起こりやすい事故と予防策

乳児期	幼児期	幼児期
<p>車椅子</p> <p>車椅子に乗るときは、必ず安全ベルトを締めてください。車椅子のそばには、必ず大人が立ってください。</p> <p>車椅子のそばには、必ず大人が立ってください。</p>	<p>階段</p> <p>階段の上り下りをするときは、必ず手すりをついてください。階段の上り下りをするときは、必ず手すりをついてください。</p> <p>階段の上り下りをするときは、必ず手すりをついてください。</p>	<p>お風呂</p> <p>お風呂に入るときは、必ずお風呂のそばには、必ず大人が立ってください。</p> <p>お風呂に入るときは、必ずお風呂のそばには、必ず大人が立ってください。</p>
<p>お風呂</p> <p>お風呂に入るときは、必ずお風呂のそばには、必ず大人が立ってください。</p> <p>お風呂に入るときは、必ずお風呂のそばには、必ず大人が立ってください。</p>	<p>お風呂</p> <p>お風呂に入るときは、必ずお風呂のそばには、必ず大人が立ってください。</p> <p>お風呂に入るときは、必ずお風呂のそばには、必ず大人が立ってください。</p>	<p>お風呂</p> <p>お風呂に入るときは、必ずお風呂のそばには、必ず大人が立ってください。</p> <p>お風呂に入るときは、必ずお風呂のそばには、必ず大人が立ってください。</p>

【データで見る 秩父市での子どものけが原因】



秩父市子ども家庭内事故予防リーフレット

子どもを事故から守ろう！

【家庭内での事故】

【幼児期】

事故	予防策	事故	予防策	事故	予防策
転倒・落下	床に物を置くときは、必ず片手で持ち上げ、片手で持つときは、必ず両手で持つようにしてください。	階段	階段の上り下りをするときは、必ず手すりをついてください。	お風呂	お風呂に入るときは、必ずお風呂のそばには、必ず大人が立ってください。
お風呂	お風呂に入るときは、必ずお風呂のそばには、必ず大人が立ってください。	お風呂	お風呂に入るときは、必ずお風呂のそばには、必ず大人が立ってください。	お風呂	お風呂に入るときは、必ずお風呂のそばには、必ず大人が立ってください。

【学童期】

事故	予防策	事故	予防策	事故	予防策
転倒・落下	床に物を置くときは、必ず片手で持ち上げ、片手で持つときは、必ず両手で持つようにしてください。	階段	階段の上り下りをするときは、必ず手すりをついてください。	お風呂	お風呂に入るときは、必ずお風呂のそばには、必ず大人が立ってください。
お風呂	お風呂に入るときは、必ずお風呂のそばには、必ず大人が立ってください。	お風呂	お風呂に入るときは、必ずお風呂のそばには、必ず大人が立ってください。	お風呂	お風呂に入るときは、必ずお風呂のそばには、必ず大人が立ってください。

評価

6. リーフレットの配布

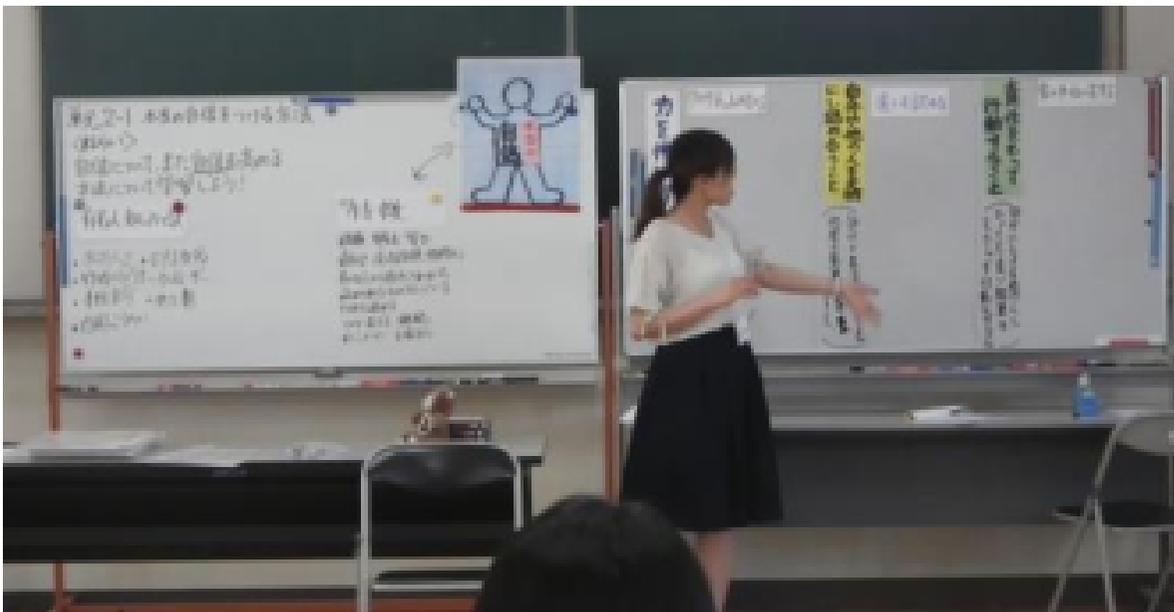
	内容	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
活動	リーフレットの作成・配布	ケガの実態調査	リーフレットの作成 5,000部	リーフレットの配布	リーフレットの配布	イラスト変更 5,000部作成
短期	屋内の危険を認識した割合（アンケート結果）	2018年より実施				97% n=101
中期	屋内の危険個所を改善した割合（アンケート結果）	2018年より実施				41.5% n=101
長期	家庭内のケガの発生件数（救急搬送データ）	17件	9件	11件	9件	10件

体験型学習で、子どもたち自身に考えさせる機会を設け、問題解決能力を身に着けさせ、対人関係の構築をはかり、いじめを防止。

対策委員会の役割

- ・ アンケート調査の実施
- ・ 体験型学習の支援

年1度の教諭向けライフスキル教育を実施



いじめの撲滅

ライフスキル教育

生徒・保護者対象のアンケート

教師・保護者向け講演会

保護者・生徒向け教育相談

道徳教育

SC認証後の継続

- ・ ライフスキル教育の実施
(全小・中学校 各1回以上)
- ・ ネットトラブル講習会
(全小学校 各1回以上)

評価

7. 体験型学習の強化

	内容	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
短期	いじめに対する認識の向上 （南小学校） n=アンケート設問3つの合計	—	—	98.9% n=549	97.9% n=441	98.7% n=495
中期	いじめをなくす行動をする児童の割合 （南小学校）	—	—	97.2% n=183	95.2% n=147	94.5% n=165
長期	いじめの認知件数 （全小中学校）	39件	82件 (基準の変化)	80件	80件	278件

取組み8 スマホ利用のルール作り **ISS推進校**

ネットトラブルの報告件数が増加していることから、スマートフォンの利用について、ルール作りを進める。



対策委員会の役割

- ・ スマホ利用のルール作りに関するの支援
- ・ 出前講座の開催



活動実績:スマホ等の使用に関する授業や講習会の実施

2015年	全21校
2016年	全21校
2017年	全21校
2018年	全21校

SC認証後の継続

- ・ ライフスキル教育の実施
(全小・中学校 各1回以上)
- ・ ネットトラブル講習会
(全小学校 各1回以上)

評価

8. スマホ利用のルール作り

	内容	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
短期	スマホのルールを作成している学校の割合	—	—	8 n=21	8 n=21	11 n=21
中期	スマホのルールを守っている割合	—	—	96.5% n=113	87.6% n=113	93.9% n=163
長期	ネットトラブル報告件数	12件	4件	0件	1件	8件

まとめ(評価による振り返り)

	成果	課題
小・中学校のケガ予防	<ul style="list-style-type: none">①ISS推進校3校での、校内ケガの発生件数が減少した。②部活動中のケガの発生件数が横這い傾向にある。	<ul style="list-style-type: none">①ISS推進校以外の小中学校への取り組みの広がりがない。②部活動中のケガの発生件数が減少傾向にない。
乳幼児のケガ予防	<ul style="list-style-type: none">①保育士の園児に対するケガへの意識が向上した。②保育所のケガの件数を見える化できた。③家庭内のケガの発生件数が横這い傾向にある。	<ul style="list-style-type: none">①細かいケガを含めたため、保育所内のケガの発生件数が増加した。②家庭内でのケガの発生件数が増減を繰り返している。
いじめの防止	<ul style="list-style-type: none">①ネットトラブルの報告件数が2014年に比べ減少した。②いじめの認知件数が上がった。	いじめの認知件数が増加傾向にある。

新たな課題への対応

<p>小・中学校 のケガ予防</p>	<ul style="list-style-type: none">・ISS推進校3校だけで取り組んでいる校内安全マップ等を、市内の小中学校へ広げるため、他校へ情報提供を進めていく。
<p>乳幼児のケガ予防</p>	<ul style="list-style-type: none">・公立保育所でのケガの特徴（特定の場所等）を詳細に調査し、対策の研究を進める。・転落によるケガへの対策の研究を進める。・家庭内でのケガ減少に向けて、リーフレットの配布、啓発を継続して実施。
<p>いじめの防止</p>	<ul style="list-style-type: none">・ISS推進校3校の共通のアンケート調査を実施し、いじめの実態を把握をし、認知件数の減少に向けて研究を進める。

ご清聴ありがとうございました



国際認証都市
セーフコミュニティちちぶ